

人は出会いからはじまり、出会いが人を作る。
二人は SHASEN の映像学科の教室で出会った。
あれから 20 年。
いいお父ちゃん、お母ちゃんになっていた。

有田 真吾 × こず恵 × 風雅 × 桜雅 × 航雅

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.6

UP! SPECIAL
HAPPY is
FAMILY

男の子が3人。お父ちゃんも入れたら4人かも。
すべての瞳はお母ちゃんに注がれる。
お母ちゃんが軸のように見えて、
本当はお父ちゃんが核。
そんなことはみんなが、わかっています。



子どもたちが寝てから、そっとゲームをするのが真吾さんの楽しみとか。「今年の新年会はウチでしようと思っていたんですよ。今度、近いうちに同級生を集めましょうね」ありがたいことです。いつまでも優しいこず恵さんでした。

10年ほど前になるだろうか。私の校長就任の会が有田家で開かれた。あれから二度目の訪問である。子どもは風雅君(11)だけであったが、今は桜雅君(5)、航雅君(1)の二人が増えた。長男は当時、シャカシヤカと元気で物怖じのしない子であったが、すっかりお兄ちゃんになっていた。「小学5年生なんですよ」と、こず恵さん(39)三男の航雅くんが現在は以前の風雅君のようである。「どうぞ」と出されたコーヒーがウマイ！おいしいコーヒーを入れる人だなあと感じしていたら、料理本が多くキッチンの戸棚にあった。「料理がスキなんです」(笑)料理の上手な奥さんをもらうと男は最高の幸せである。そのせいか主人の真吾さん(40)の顔も体つきもふっくらとしていた。「ボクは地元、この枚方で育ったんですけど、両親が鹿児島県の徳之島出

身なんです。その両親の影響から豚料理が好物です」「わたしの得意料理は豚角煮です」(笑)
幸せ太りの二人が可愛い三匹の子豚を育てている。もちろん、家はレンガ作り。これからは、いろんな風が吹くだろうし、嵐の後はサクラが咲くだろう。家族の航海はまだ始まったばかりなのだ。そんな思いを子どもたちの名前にしたためたのは両親の愛だろう。
SHASENの卒業アルバムを広げながら、昔話に盛り上がる。「今も専門学校時代の仲間とは付き合っていますよ」人は出会いからはじまり、出会いが人を作る。このご夫婦はSHASENの映像学科の教室で出会ったという。あの机、あの黒板、小さな会話。人生を変えた出会いから20年。お互いを認め合う時間を積み重ねて二人は親になった。(は)